

報道関係者各位
プレスリリース

2015年6月1日
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
脳神経外科学

ネパール大地震後の医療状況についての報告会

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび4月25日ならびに5月12日にネパール中部で起きた大地震を受け、脳神経外科学講座ではこれまで2陣にわたり、現地医療事情視察ならびに医療支援をおこなっております。

第1陣としては、当講座特任研究員ボハラ・マノズ医師が、本年5月5日・11日、首都カトマンズのアンナプル脳神経センター等にて負傷者の手術等の医療支援活動を行いました。第2陣としては、本年6月1日・6月5日に、ネパール国における脳神経外科医療の立ち上げを長らく支援して参りました当講座教授 有田和徳が、NPO法人「ANT-Hiroshima」理事長渡部朋子氏（広島市中区）ならびに在日ネパール人留学生有志らと共に派遣チームを結成し、カトマンズ市内あるいは郊外の病院におきまして、支援募金の授与、医療状況の視察、手術指導、医療コンサルテーション、医療サービスの再建に関するディスカッションを行う予定でございます。

つきましては、帰国後に、下記の日程におきまして「ネパール大地震後の医療状況についての報告会」を開催する予定でございますので、報道機関の皆様にご案内申し上げます。取材いただけます場合、問い合わせ窓口まで事前にお知らせくださいますようお願いいたします。

記

「ネパール大地震後の医療状況についての報告会」

日時：2015年6月11日（木）18：00～

会場：鹿児島大学病院 C 棟 8 階セミナー室

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1

演者：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科 特任研究員 ボハラ・マノズ
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科 教授 有田 和徳

※ボハラ・マノズ医師：ネパール・カトマンズ出身。ネパール国立トリブバン大学医学部を卒業後、2009年来日（脳神経外科学研究生）。2010年鹿児島大学大学院博士課程(脳神経外科)に入学、2014年に同大学大学院博士課程修了（医学博士を取得）。本年7月に帰国予定。

〈本件に関する問い合わせ窓口〉

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科学

医局長 大吉 達樹・秘書 加治佐

TEL:099-275-5372

FAX:099-265-4041

メール:noge@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp

〈講座概要〉

施設名：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学

代表者：教授・副病院長 有田 和徳

所在地：〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1

設立日：1975年3月

URL：<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~ns/index.html>

主な事業：脳神経外科における診療・研究・教育